

平成24年度（2012年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）

国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目：論述（問題用紙は4ページ、設問は14問あります）

第1ページ

以下の設問1～14から2問選んで、日本語で解答しなさい。そのうち少なくとも1問は第1志望の講座から選ぶこと。

多元文化論講座

1. ユニバーサルデザインについて、ある自治体はそのホームページで、「年齢、性別、国籍、人種、障害などの有無にかかわらず、すべての人々が使いやすいデザインのことです。シャンプーとリンスを区別する容器のギザギザや、だれもが使いやすい多目的トイレ、歩きやすいように電柱を地下に埋めた道路、床の低いバスなどが代表例です」と説明して、啓発に努めている。このようなユニバーサルデザインを進めることの文化的利点を論述しなさい。
2. 市販の雑誌を具体的に一つ取り上げて、受容の立場からその特徴を述べ、現代の文化におけるその雑誌の機能について論じなさい。

先端文化論講座

3. 異なる文化が会合うときに、それぞれの文化が持っている身体観や身体イメージにはどのような変化が起こるだろうか。具体的な例を挙げて、あなた自身の考えを述べなさい。
4. 人間は、何も書かれていない白紙のような状態で生まれてくるのであり、人格は、すべて誕生後におかれた環境や体験によって形成されるという考え方がある。その一方で、人間には生まれた時点ですでに、民族や文化が共有してきたある一定の性格が文化遺伝子のごとく組み込まれているという見方もある。西欧近代を大きく特徴づけるこれらの二つの思想的潮流について、あなたの知っていることを具体的に挙げながら論じなさい。

アメリカ言語文化講座

5. self-made man の概念はしばしばアメリカ合衆国の文化、社会の根底にある理想として取り上げられてきた。この概念について小説、映画、テレビドラマ、歌などを例に挙げて論じなさい。
6. EFL（外国語としての英語）教育における「動機付け」に関して、教授者と学習者それぞれの役割を取り上げて論じなさい。

東アジア言語文化講座

7. 英語のような主語優勢言語（subject-prominent language）に対し、日本語は一般に主題優勢言語（topic-prominent language）であるとみなされる。中国語、朝鮮・韓国語、ロシア語のいずれかをとり上げ、当該の言語において「主語」および「主題」がどのように扱われているのか、具体例を挙げて論じなさい。
8. 我々はある文学作品を読めば、おおよそその作品がどの作家のものであるか予想することができる。このようなことが可能なのは、作家によって文体が違っていることがその大きな要因であろう。この文体とは具体的にどのようなものと考えられるか。中国、朝鮮・韓国、ロシアを代表する作家を取り上げて論じなさい。

ヨーロッパ言語文化講座

9. 著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者から許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

Iris Marion Young (1989), "Polity and group difference: A critique of the ideal of universal citizenship", *Ethics* 99 (2), p. 258. 施光恒訳 (1996) 「政治体と集団の差異」『思想』No. 867, p. 107. (訳を一部変更)

筆者の主張に対するあなたの考えを詳しく述べなさい。ただし具体例を挙げて論じ、「差異を横断するコミュニケーション」について必ず言及すること。

10. ヨーロッパ全体、あるいはその一部の地域(国など)の文化や社会について考察する際に、一定の評価を得ていると考えられる資料を具体的に一つ取り上げ、その資料のタイトルを示したうえで、それが、どのようなヨーロッパ社会・文化の側面を照明するのか、あなたの考えを述べなさい。

ジェンダー論講座

11. いわゆる「母性愛」と児童虐待は矛盾するか否か。あなたの考えを述べなさい。
12. 性に関するダブルスタンダード(二重基準)の例を挙げ、その問題点を論じなさい。

試験科目：論述
第4ページ

メディアプロフェSSIONALコース

13. 2011年3月、日本は東日本大震災とそれに続く福島第一原子力発電所事故という未曾有の困難に直面した。東日本大震災・福島原発事故に関する報道において、日本のメディア、海外のメディアが果たした役割と果たせなかった役割について論じなさい。その際、下記のキーワードを二つ以上使用すること。

キーワード

【報道機関、科学技術、グローバル・メディア、国民の知る権利、民主主義、危機管理、政治献金、世界標準、権力監視、国際原子力機関(IAEA)、ナショナリズム、SNS、情報開示、情報発信】

14. テクノロジーの進化がこれまでにない情報伝達手段や仕組みを作り出し、そこに新しいコミュニケーションの形が生成されている。他方、デジタル・ツールに依存しない旧来型のコミュニケーションを今だからこそ再評価すべきとの声もある。それら新旧コミュニケーションのあり方に対するあなたの考えを、実例を挙げて述べなさい。